



謹賀新年



議会活性化を目指して

合志市議会議長 池永 幸生

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げますとともに、日ごろより市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

旧年中、本市におきましては、穏やかな年であったかのように思いますが、7月11日から12日にかけての集中豪雨による九州北部地方は、多大な被害を受け近隣の市町村においても大きな被害が発生しました。衷心よりお見舞い申し上げます。

近年の地方分権の進展により市民に身近な市町村の役割は、一層重要になっております。荒木市政においても「稼げる市」の実現に向けたいろいろな事業が展開される中、長引く不況に耐えることができる市であるように、市議会が果たすべき役割および責務の重要性は、ますます増大しております。議会の役割は、予算



合志1300年の歴史と共に

合志市長 荒木 義行

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、希望に輝く新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年、西暦713年（和銅6年）の好字令により、私たちのまちづくりの基本である「志を合せて」の「合志」という地名ができて1300年になります。この長き歴史がある本市をますます発展させるため、安全・安心のまちづくりを目指し、粉骨砕身努力して参ります。

本市はこの3年間、「健康都市こうし」を目標に掲げ、「稼げる市」を目指して参りました。おかげさまで人口は57,000人を超え、人口の約1割が小・中学生、高齢化率20%という大変若く、活気のあるまちとなっております。しかし、18歳を超えた年齢から他市町村への流失が増加するといった現象がおきています。これは、住みやすい街ですが、若い人た

ちの働く場所が少ないということだと思われま。

この状況を解消するため「健康ファクトリー構想」を推進し進め、「稼げる市」を実現しようとして、昨年は商工振興課内に農工商連携班を設置し、新産業創出に向け取り組みを進めています。また、健康づくり推進課内に健康企画班を設置し、市民の健康増進のための新たな事業や環境づくりに取り組んでいきます。その他にも土地利用に関する重点区域を設け、良好な住環境と雇用の場を確保するため施策を展開していくこととしています。

これらの取り組みは、一朝一夕に成果が現れるものではなく、行政だけで進められるものではありません。市民の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年が皆さまにとってより良き年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

本年も良い年で
ありますように